

緩和医療科

○ 緩和医療科の概要

1. 緩和医療科の特色

当科では多職種（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士）で協働する「緩和ケアチーム」を結成し、埼玉医大病院に入院する患者に緩和ケア、在宅移行ケアを提供している。痛み、だるさ、眠気、吐き気、食欲不振、息苦しさ、気分の落ち込み、不安、退院後の生活など、入院中に「つらい症状」や「退院後の心配」のある患者と家族に介入して、主科と共に患者の「生活の質」（QOL）を考えていくことを業務としている。

また、救急センターに搬送されてきた高齢者（ロコモ/フレイル）に介入し、介護保険の申請を指導、在宅医療（定期巡回随時訪問介護看護サービスなど）をコーディネートして、患者が地域で安心して過ごせるようにケアプランを立案している。

このように当科では埼玉医大病院を利用する患者さんと家族に対して「つらい症状」のみならず、どんなことでも緩和ケアチームが相談にのれるように工夫している。

2. 診療実績（緩和ケアチーム新規依頼件数）

	2021 年度	2022 年度	前年度比
がん	161 (58.1%)	207 (49.9%)	129%
非がん	116 (41.9%)	208 (50.1%)	179%
計	277	415	150%

3. 診療スタッフ

岩瀬哲（教授）：症状コントロール、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）、在宅移行ケア

芳賀佳之（兼担教授）：心不全

上條吉人（兼担教授）：薬物依存、せん妄

神山哲男（准教授）：身体症状、心不全

岩崎由希子（准教授）：身体症状

松本佳祐（助教）：症状コントロール、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）、在宅移行ケア

新野捺美（助教）：症状コントロール等

橋本雄太（助教）：症状コントロール等

山本航史郎（助教）：症状コントロール等

4. 臨床研修プログラムの特色

専門的緩和ケアの理解と実践を学ぶことができる（専門的緩和ケアとは、基本的緩和ケアの技術や知識などに加え、多職種でチーム医療を行う適切なリーダーシップを持ち、緩和困難な症状への対処や多職種の医療者に対する養育などを実践し、地域の病院やその他の医療機関等のコンサルテーションにも対応できることである）。

また、ロコモ・フレイル患者の管理をとおして、在宅医療の適切なケアプランを立案できるようになり、地域医療連携を学ぶことができる。

5. 指導責任者

岩瀬哲（教授）

6. 緩和医療科の週間予定スケジュール

	午前	午後
月曜日	カンファレンス/病棟ラウンド	ロコモ・フレイル外来
火曜日	カンファレンス/病棟ラウンド	病棟ラウンド
水曜日	カンファレンス/病棟ラウンド	ロコモ・フレイル外来
木曜日	カンファレンス/病棟ラウンド	病棟ラウンド

金曜日	カンファレンス/病棟ラウンド	病棟ラウンド
土曜日	在宅移行ケア・カンファレンス	

○ 緩和医療科の学習目標

一般目標（GIO）

臨床医としての苦痛症状の予測と予防と緩和に関する基本的な事項を習得し、緩和医療学の理論と実践を行うことができる。また、地域のロコモ・フレイル患者の管理をととして、地域医療連携を実践できるようになる。

行動目標（SBOs）

- 1) 苦痛症状の予測について実践ができる
- 2) 苦痛症状の予防について実践ができる
- 3) 苦痛症状の緩和について実践ができる
- 4) 在宅移行ケアについて実践ができる
- 5) 地域医療連携について実践ができる

研修方略（LS : Learning Strategies）

基本的に午前はカンファレンスに出席し、緩和ケアチームの一員として病棟ラウンドに参加する。午後は外来にも参加し、病棟ラウンドでは緩和ケアのコンサルト業務を学ぶ。

毎日緩和ケアデータベースに項目にしたがって患者情報（評価）を入力し、毎朝のカンファレンスで患者についてプレゼンテーションを行う。

介入患者の退院前カンファには必ず出席し、地域との包括的な連携について学ぶ。

研修評価法（EV : Evaluation）

研修終了時に研修担当指導医による評価を受ける。EPOC2 評価項目の他、各行動目標の達成度につき、本人および評価者と確認する。

到達目標と評価表

【評価 A : 可 B : 不可】	自己評価	指導医評価
1. 指導医の指導の下で、苦痛症状の予測と予防と緩和ができる	()	()
2. 指導医に適切なコンサルテーションができる	()	()
3. 症例を提示し緩和ケアチームのメンバーと討論できる	()	()
4. 難治性症状に対する考え方が理解できる	()	()
5. 緩和ケア診療計画が立案できる	()	()
6. グリーフ・ケアの考え方が理解できる	()	()
7. 臨床研究を立案することができる	()	()

研修に関する問い合わせ先

- ・Mail: palliative.sec@gmail.com
- ・内線: 2741（緩和医療科医局）